

令和4年度足立区総合交通計画推進会議（書面開催）での主な意見

【A 公共交通施策に関する意見】

No.	寄せられた主な意見	区の考え方
(1) 地下鉄8号線に関すること		
1	<p>【区議会議員】</p> <p>地下鉄8号線整備促進のため、国への働きかけを行う必要がある。</p>	<p>豊洲～住吉間の整備の進捗状況等を確認しながら、計画線沿線の自治体等と連携のうえ、適切な時機に実施を検討してまいります。</p>
(2) ホームドア設置に関すること		
2	<p>【住民又は利用者】</p> <p>区内で乗降客数が多い西新井駅にホームドアを早急に設置してほしい。</p>	<p>東武鉄道に確認したところ、ホームドアの設置へ向け、既に調査や設計を進めているとのことでした。</p> <p>足立区としましても、ホームドア整備がスムーズに進むよう、東武鉄道へ要望してまいります。</p>
(3) 公共交通等に関すること		
3	<p>【区議会議員】</p> <p>社会実験バスについて、高齢者の医療・介護予防の観点を取り入れ、重要な福祉施策としてほしい。</p>	<p>今回の社会実験バスは、足立区総合交通計画に基づき、交通不便地域の解消を目的として運行を開始しました。現在、約半数の方がシルバーパス（70歳以上）利用で乗車されております。本格運行へ移行できるよう、10月1日より運賃体系の変更や、ダイヤ改正等の方策を実施してまいります。</p>

No.	寄せられた主な意見	区の考え方
4	<p>【区議会議員】</p> <p>社会実験バス（六町駅～花畑桑袋団地）の検証運行の実施、及び交通不便度が高い地域とされた入谷・鹿浜地区町会自治会連合会へのヒアリング着手については評価しているが、バス路線検討地区図や多様な交通手段検討地区図を見てもその範囲は一部となっている。他の不便度が高い地区や需要量が高い地区でも検証・検討を望む声が多く、1か所のみで達成したからそれでよいとは考えないでほしい</p>	<p>バスによる社会実験の実施や、多様な交通手段の導入検討などについては、非常に費用と時間がかかる取り組みとなります。今後、検討していく入谷・鹿浜地区を含めその他の検討地域でも、対象地域の交通に対する需要を的確にとらえ、交通手段の必要性について十分に検討してまいります。</p>

【B 自転車施策に関する意見】

No.	寄せられた主な意見	区の考え方
(1) 自転車走行環境に関すること		
5	<p>【区議会議員】</p> <p>複合的な条件で事故が発生する可能性を周知するよう盛り込むべきである。自転車通行が多い時間帯に、都外からのトラックがブルーレーンをふさいでいる状態がある。</p>	<p>事故の要因となる条件を交通安全教室等で引き続き周知していきます。違法駐車については、警察署と情報共有し、連携して対応してまいります。</p>
6	<p>【住民又は利用者】</p> <p>ナビラインやナビマークが多く見られるようになったが、自転車利用者の中には右側通行する人が多い。大人向けの交通安全教育が必要と感じている。</p>	<p>広報やSNS、大人向けの交通安全講話や自転車マナーアップキャンペーン等で自転車の左側通行について、引き続き啓発してまいります。</p>
(2) 電動キックボードに関すること		
7	<p>【バス事業者】</p> <p>電動キックボードの危険な走行が散見されることから対策を検討いただきたい。</p>	<p>電動キックボードについては、経済産業省の公道実験や道路交通法の改正等の状況を踏まえ、ルールやマナーの周知や啓発等の対策を検討していきます。</p>

No.	寄せられた主な意見	区の考え方
8	<p>【交通管理者】</p> <p>自転車走行環境整備については、警察側で実施する自転車通行環境整備（自転車通行帯等）との連携が不可欠であることから、実施に際しては、計画の早期段階から警察へ情報提供いただきますようお願いいたします。</p> <p>自転車駐車場の整備については、放置駐輪防止や防犯対策のみならず、街の治安向上につながることから、再開発事業や駅前広場整備などの機をとらえ、二輪車も含む自転車駐車場の整備促進が図られる様、引き続き協力をお願いいたします。</p>	<p>自転車走行環境整備につきましては、実施計画がまとまり次第、警察へ情報提供してまいります。</p> <p>新たに整備する自転車駐車場につきましては、まちづくり計画や駅前広場整備などに合わせて整備を行ってまいります。</p> <p>また、既存の自転車駐車場についても、まちの変化にあわせて必要な改修を行ってまいります。</p>

【C 交通基盤整備施策に関する意見】

No.	寄せられた主な意見	区の考え方
(1) 竹ノ塚駅東口の整備に関すること（類似意見2件）		
9	<p>【区議会議員】</p> <p>竹ノ塚駅東口の広場整備は、地域・UR・東武等と緊密に連携して協議等を行っていく必要がある。</p>	<p>駅付近の高架化を契機に、足立区、UR都市機構、東武鉄道が駅周辺のまちづくりの検討、推進を三者が相互に連携、協力することを目的として、令和4年3月に「まちづくりに関する基本協定」を締結しました。今後は、駅周辺のまちづくりやUR団地の再生など、具体的な整備スケジュールについて、三者が協力して検討、協議を進めてまいります。</p>

No.	寄せられた主な意見	区の考え方
10	<p>【学識経験者】</p> <p>都市計画道路の整備水準（設計基準）が高くなったとはいえ、電信柱の地中化、街路樹の育成など、必要な整備を進めていく必要がある。</p>	<p>電信柱の地中化につきましては、足立区無電柱化推進計画の中で、都市計画道路を無電柱化優先整備路線に位置付け整備促進を図っております。また、街路樹につきましては、公共施設等整備基準や今年度策定予定の街路樹維持管理指針に基づき、道路に向けた樹種を選定し、通行者の心地よい緑の空間を創出できるよう整備していきます。</p>
(2) 災害対策に関すること		
11	<p>【バス事業者】</p> <p>激甚化する自然災害によるバス車両の浸水被害を回避するため、車両退避場所の確保も検討いただきたい。</p>	<p>水害時は、足立区全域に浸水エリアが発生するため、区民の方が避難する避難所を優先して確保しています。</p> <p>車両については、個人の車両と同様に原則的には各バス事業者が前もって浸水区域外に退避させていただきたいと考えております。</p>

【D 公共交通利用促進施策に関する意見】

No.	寄せられた主な意見	区の考え方
(1) バス利用者へのサービス向上に関すること		
12	<p>【学識経験者】</p> <p>バスは大別して、路線バスとコミュニティバスがあるが、両者の役割分担がいまいである。相互補完関係を保てるようなシステムを考えるべき時期に来ていると思う。</p>	<p>区内を走るコミュニティバス「はるかぜ」は、路線バスでは通行できない幅員の道路を中心に、主要駅から区役所へのアクセスのし易さや、地域の交通不便を解消する目的などで運行を開始致しました。</p> <p>今後は、はるかぜや既存の公共交通が相互に補完しあうことで、交通利便が維持できるよう、交通事業者等と協議しながら、現計画を見直し、令和5年度より新たな地域公共交通計画を作成してまいります。</p>

No.	寄せられた主な意見	区の考え方
13	<p>【区議会議員】</p> <p>ブンブン号の本格運行に向けて、バス運行事業者と良い協力ができるよう、区が工夫する必要がある。</p> <p>沿線でのイベントや学校行事の際は、必ずブンブン号を紹介して周知を進めてほしい。SNSでの周知についても内容を工夫してほしい。</p>	<p>運行事業者とは、日常的に連絡を取り合い、利用者増に向けて、情報共有など行いながら社会実験を進めております。</p> <p>また、令和4年度当初に、イベントに合わせてブンブン号の無料乗車券配布を予定していましたが、コロナの影響によりイベントが中止となり、配布も併せて中止しました。</p> <p>今後、地域や路線沿道の施設などでイベントが開催される際には、関係機関と調整した上で、会場までの交通手段として利用していただくなど、SNSによる情報発信を、工夫して取り組んでまいります。</p>